

〈隷書〉

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

吉田成美先生書



〈行書〉

吉田成美先生書



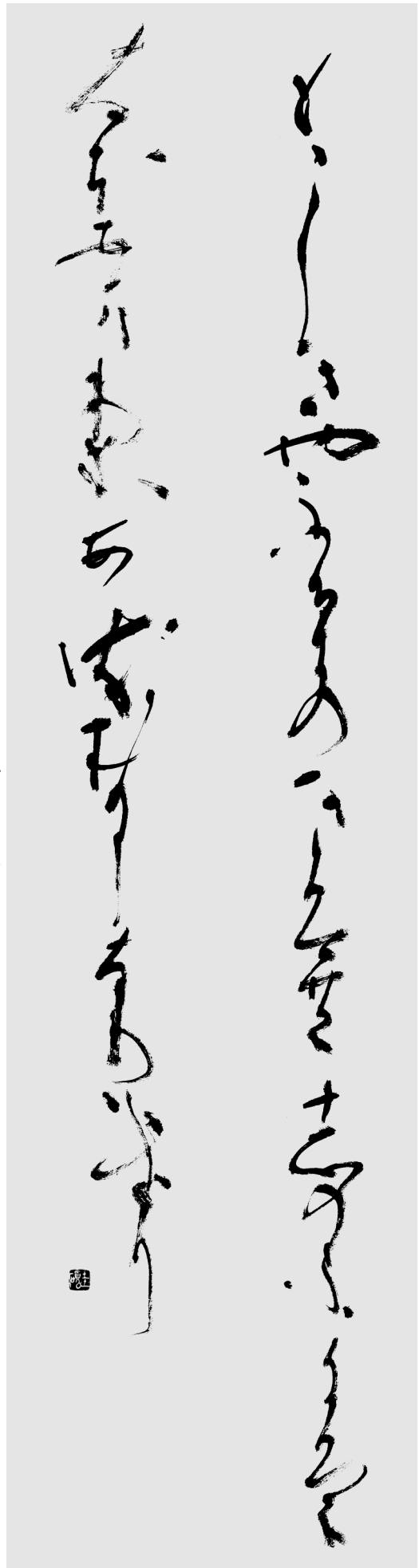
□ 野水に臨み浮雲を看る。(王敬美)

野水の水にさしのぞき 浮雲のうつるのを無心で見る。

次号予告「星河不動天如水 風露無聲月滿樓」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ もゝしきや ふる支きのき盤は農の 志しのふ尔に裳も な本ほあ万梨まりあ流る む可かしなり遣けり △百人一首一〇〇▽
ももしきや ふるき軒のはの しのふにも なほあまりある 昔ななりけり

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点のみとする）

山本飛雲先生臨



▽ 文皇哀冊

仰高天而攀慕嗚呼哀哉崇基永煥置業

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書



□ 胡桃讚（抄） 三好達治の詩 面白きかな胡桃内に滋味を蔵す 詩もまたかくの如くにして佳し。

条幅随意（半折½縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



清原大龍先生書

□ あじさみの 穂は一つも 地につかず

上野章子の句

紫陽花の季節です。昔は紫陽花といえは青のイメージでしたが、今は色とりどり。好きな花色があったら、さし芽をすると夢が広がります。

△手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横½に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折½）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)



□ 夏潭修竹蔭う (武帝)
夏の頃の底知らぬ淵は、生い茂れる高く長き竹に覆われている。

次号予告「啓窓來清風」

吉田成美先生書

半紙規定参考手本 — 6月末日締切 —

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 夏潭修竹蔭う (武帝)
夏の頃の底知らぬ淵は、生い茂れる高く長き竹に覆われている。

次号予告「啓窓來清風」

吉田成美先生書

半紙随意参考手本 — 6月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります



□ 仁智明達

なまげ深く、かしこくて、物事の道理によく通じている。

吉田成美先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課題は一人一点とする）

▽ 文皇哀冊



△ 臨書▽

手首を柔らかく、親指の力を抜いて、ゆったりとした呼吸を意識して、書いてみましょう。

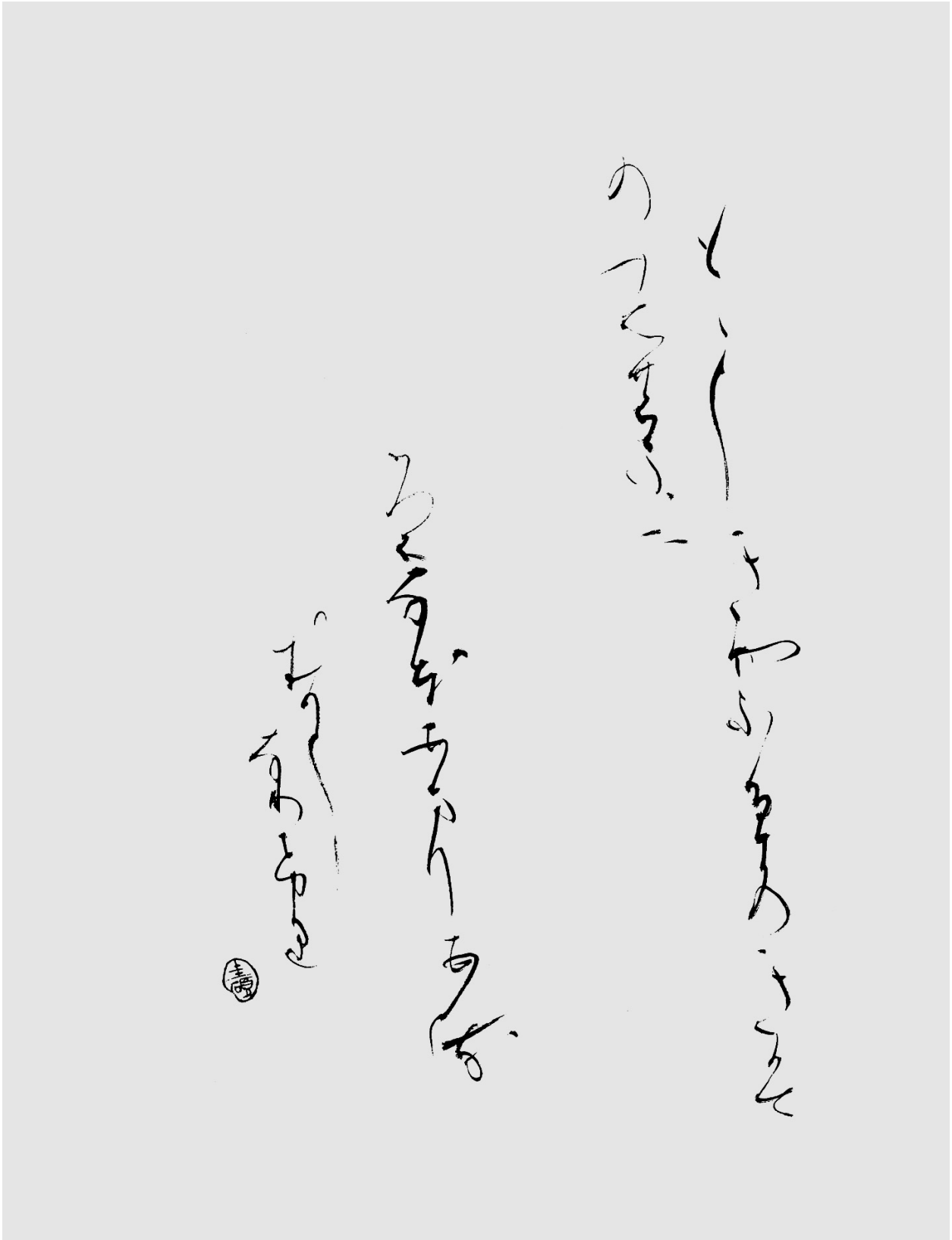
「置業方昭」

渡邊大嶽先生臨

半紙随意参考手本 — 6月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽
もゝしきや
ふる支さのき盤ばんの
志し農のふ二裳にも
な本ほあ万まりあ流る
むかしなり希けり



もしきや
ふるき軒の
しのふにも
なほあまりある
昔なりけり

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

万葉集には百五十種を越す植物が
詠まれています 今日何気なく見ている
野辺の草花や里山の本々にも飛鳥や
奈良の時代から季節毎に花を咲かせ
て来たものが沢山あります 佐和

兵頭白慧

△手紙文▽

万葉集には 百五十種を越す植物が詠まれています 今日何気なく見ている野辺の草花や里山の本々にも 飛鳥や奈良の時代から季節毎に花を咲かせて来たものが沢山あります 佐和

大坪桂子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

拝啓 梅雨明けが待ち遠しく今日あじろ、
ますますご清祥のことと存じます。
さし、このたびはご丁寧にお祝いの品をお送り
いただき有難うございました。早速家族で賞味
させていただき、あまりの美味しさに一同心から
喜んでおります。いつも何かとお心配りいただき、
大変感謝しております。

思わぬ梅雨寒にお風邪など召されませんよう
くれぐれもご自愛ください。
敬具

野のある便箋に書いてみよう。

△26 cm × 18 cm▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

一般硬筆部参考手本 — 6月末日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	人間誰も相手の名前前に萎縮する。
	ある将棋の名人が、名を秘して素人と
	一番指したとき、形勢が救い難く悪
	くなった。そこで名人が名を明かすと、
	相手は急に崩れて負けました。
段 級	
氏 名	

小 畠 秋 聲 先 生 書



今月のかきかたドリル (形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	縛	小学6年	庫	小学5年	験	小学4年	返	小学3年	回	小学2年	玉	小学1年	む	ようねん	ゆ

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元 紫香 先生 書

白い雲

小学4年

木かけ

小学3年

ほたる

小学2年

つゆ

ようねん・小学1年

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

紅花摘み

中学2・3年

光る木立

中学1年

感謝の心

小学6年

飛行する

小学5年

坂元紫香先生書

△条幅¼ 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17.5cm ▽

ようねん・小学一年

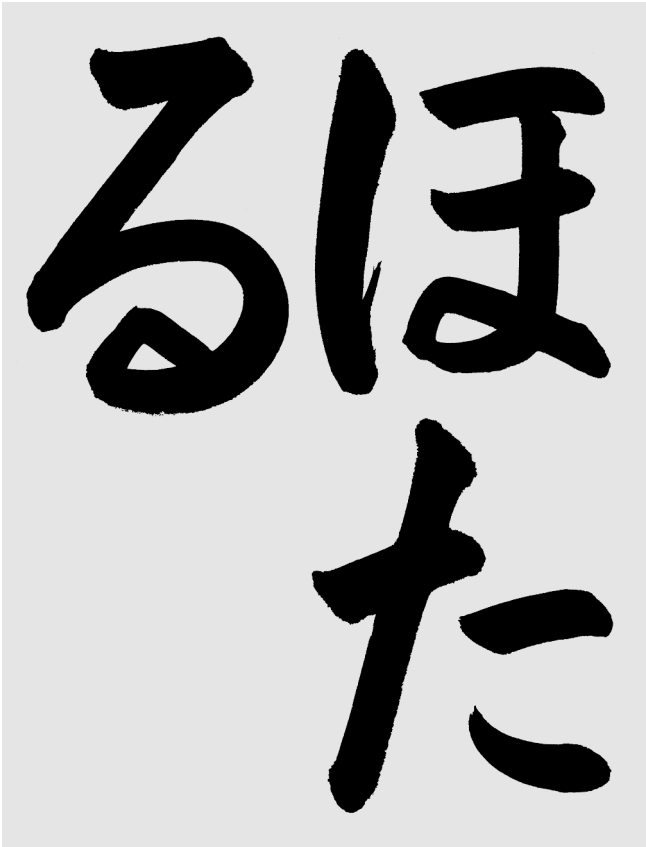
次号予告「すな」



□「ゆ」の二画目は二画目より高い位置から書き始めましょう。「ハライ」は、ていねいに。

小学二年

次号予告「ゆかた」



□「ほ」「る」の「むすび」は、筆の軸だけを回さないように気をつけましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「光」



□文字の布置に気をつけ、「左払い」「右払い」をゆつくりと伸びやかに書きましょう。

小学四年

次号予告「はすの花」



□「あめかんむり」の形に気をつけ、や、逆の台形を意識しながらバランスよく書きましょう。

吉田成美先生書

小学五年

飛行

次号予告「泳ぐ」

□二文字の大きさに注意し、中心のたて画、まわりの空間に気をつけて書きましょう。

小学六年

次号予告「働く」

感謝

□「感」は心のの大きさ・位置に注意し、「謝」は、ほぼ三等分出来るように書こう。

秋永春霞先生書

中学一年

本立

次号予告「月光」(行書)

□楷書と異なる点画の方向や形の変化を理解し、筆脈を意識して書きましょう。

中学二・三年

次号予告「流れる雲」(行書)

紅花

□楷書とは異なる行書での部首の筆順の変化を理解し、流れよく伸びやかに書きましょう。

吉田成美先生書

小学二年

段 級				
氏 名				
み	と	り	色	です。
ビ	ー	玉	ぐ	ら
ち	は	ん	大	き
ミ	ニ	ト	マ	ト

①よこせんのうち
②おはんなか
③あいだをあける
④はねる
⑤かたがへ
⑥ひだり
⑦みぎ
⑧なだ

小学三年

段 級				
氏 名				
人	々	は	回	の
方	で	か	が	な
方	の	て	か	い
さ	ん	生	み	出
				して
				きた。

①よこせんのうち
②おはんなか
③あいだをあける
④はねる
⑤かたがへ
⑥ひだり
⑦みぎ
⑧なだ
⑨もとの
⑩まへ
⑪うしろ
⑫たもと
⑬たもと
⑭たもと
⑮たもと
⑯たもと
⑰たもと
⑱たもと
⑲たもと
⑳たもと
㉑たもと
㉒たもと
㉓たもと
㉔たもと
㉕たもと
㉖たもと
㉗たもと
㉘たもと
㉙たもと
㉚たもと
㉛たもと
㉜たもと
㉝たもと
㉞たもと
㉟たもと
㊱たもと
㊲たもと
㊳たもと
㊴たもと
㊵たもと
㊶たもと
㊷たもと
㊸たもと
㊹たもと
㊺たもと
㊻たもと
㊼たもと
㊽たもと
㊾たもと
㊿たもと

「F E I」印
①少しき出る ②はねる

糸網紳縛
①はねる ②はねない
 牛牛物
①はねる

段級	氏名
ひと目見たときの印象に縛られ、 一面のみをとり、その物の全て を知ったように思いかちである。し かし、この図でも風景でも、見方 によって見えてくるものがちがう。	

中学

「はかくて書く」
①はねる
 糸網紳級
①少しき出る ②はねる
 牛牛物
①はねる ②はねない
 了り除除
①はねる ②はねない

段級	氏名
学級文庫には、まんがを置いて いいと思いません。でも、まんが本に 親しむのも学級文庫の役割で、 まんがだからといって除かれる のはおかしいと思います。	

小学六年